

第5回記念 古河市マスターズサッカー大会 1995.6.3~5



- | | |
|----|--|
| 主催 | 古河市・財団法人古河市体育協会 |
| 主管 | 古河市サッカー協会 |
| 後援 | 朝日新聞社・日刊スポーツ新聞社
茨城県サッカー協会 |
| 協賛 | 大塚製薬株式会社
利根ココロラボトリング株式会社 古河営業所
富士ゼロックス(株)
アサヒビール(株) |
| 協力 | 古河旅館組合
古河バー・スナック業組合
古河市商店連合会
古河地区ハイヤー組合 |

参加チーム一覧表

【チャレンジ部門】

No	県名	チーム名	備考
1	青森	ヴェール・ソレ十和田	
2	"	八戸ゼブラFC	
3	秋田	秋田四十雀	
4	岩手	盛岡四十雀サッカークラブ	
5	宮城	萩工クラブ	
6	群馬	太田壮年サッカークラブ	
7	"	前橋四十雀	初参加
8	栃木	アスペランテ宇都宮	
9	"	下都賀四十雀	初参加
10	埼玉	N T T 四十雀	
11	"	川口四十雀FC	
12	"	川越四十雀サッカークラブ	両部門参加
13	"	積水武蔵TURTLES	初参加
14	"	本庄アイベックス	両部門参加
15	"	与野四十雀サッカークラブ	
16	東京	四十雀クラブ東京	両部門参加
17	"	T G F C O B	初参加
18	"	東京北区四十雀FC	
19	"	P P R	
20	"	U N B F C	初参加
21	千葉	W M F C	
22	神奈川	綾瀬四十雀サッカークラブ	
23	"	神奈川四十雀サッカークラブ	両部門参加
24	"	川崎四十雀サッカークラブ	両部門参加
25	"	高麗サッカークラブ	
26	"	茅ヶ崎四十雀	
27	"	平塚四十雀FC	
28	"	南足柄四十雀	
29	"	横須賀四十雀サッカークラブ	
30	"	横浜シニアサッカー	
31	茨城	茨城日立HP	
32	"	鹿島四十雀	両部門参加
33	"	原研四十雀	
34	"	総和マスタース	両部門参加
35	"	つくば四十雀	両部門参加
36	"	古河市壮年サッカー愛好会	3部門参加

【エンジョイ部門 40雀】

No	県名	チーム名	備考
1	青森	五戸江渡 F C	
2	栃木	足利四十雀サッカークラブ	
3	"	富士通小山 O B	
4	埼玉	大宮四十雀植竹 F C	
5	"	熊谷ブーメラソ	
6	"	越谷四十雀サッカークラブ	初参加
7	"	狭山アゼイリア F C	
8	"	セントラル蹴球団	
9	"	新座スカイファイトーズ	
10	"	飯能四十雀	初参加
11	東京	F C 小金井	
12	"	葛飾フォーティーズ	初参加
13	"	江東五区四十雀サッカークラブ	
14	"	墨田四十雀	
15	"	多摩サッカークラブ	
16	"	ブレインズ	初参加
17	"	BOMBEIRO-119	
18	"	読売 S C 育成会	初参加
19	千葉	柏キソングス	
20	"	(株) クボタ	
21	"	習志野 N U ヴィーガス	初参加
22	神奈川	岩崎 F C	初参加
23	"	湘南ペガサスサッカークラブ	
24	"	多摩クラブ	
25	"	茅ヶ崎クレインズ	
26	宮崎	90' S F C	初参加
27	茨城	笠間四十雀蹴球団	
28	"	鹿島四十雀	両部門参加
29	"	総和マスターズ	両部門参加
30	"	つくば四十雀	両部門参加
31	"	並木 F C ファザーズ	初参加
32	"	八郷町パルソマジュール	
33	"	古河市壮年サッカー愛好会	3部門参加

【エンジョイ部門 50雀】

No	県名	チーム名	備考
1	栃木	平成四十雀サッカークラブ	
2	埼玉	川越五十雀	両部門参加
3	"	パルスフットボールクラブ	
4	"	本庄アイベックス	両部門参加
5	東京	五十雀クラブ東京	両部門参加
6	神奈川	小田高五十雀	
7	"	神奈川四十雀サッカークラブ	両部門参加
8	"	Y. K クラブ	両部門参加(川崎)
9	"	湘南ペガサスシニア	
10	茨城	古河市壮年サッカー愛好会	

☆☆☆ 第5回記念大会 写真で振り返る ② ☆☆☆

1995. 6. 3 ~ 5



5回大会 記念品の授与も行いました



翌日の決勝戦はPK戦へ



PK戦を制したのは萩エクラブ (宮城)



真新しい優勝旗やトロフィー、楯が贈られました



記念大会 優勝 萩エクラブ (宮城)



準優勝 高麗サッカークラブ (神奈川)



記念大会 第3位 前橋四十雀 (群馬)



第3位 茅ヶ崎四十雀 (神奈川)

☆☆☆ 第5回記念大会 写真で振り返る ② ☆☆☆

1995. 6. 3 ~ 5



5回大会 記念品の授与も行いました



翌日の決勝戦はPK戦へ



PK戦を制したのは萩エクラブ (宮城)



真新しい優勝旗やトロフィー、楯が贈られました



記念大会 優勝 萩エクラブ (宮城)



準優勝 高麗サッカークラブ (神奈川)



記念大会 第3位 前橋四十雀 (群馬)



第3位 茅ヶ崎四十雀 (神奈川)



水戸支局(9310)
水戸市大町 1-2-38
☎029-229-0131
ファクス 229-5055
つくば支局(9305)
つくば市二の宮2-5-28
☎0298-55-0131

広いグラウンドにのみが
える青春。四十歳以上のサ
ッカー好きが集う古河市マ
スターズサッカー大会(古
河市、同市体育協会主催、
朝日新聞社主催)が、
六月三日から三日間、市立
古河サッカー場、渡良瀬川
河川敷のリバーフィールド
古河などで開かれる。四年
前、三十三チームが参加し
て開かれた同大会は、地元
のサッカー関係者の夢を
乗せて年々、輪が広がる。
五回目の節目となる今年は
記念大会となり、初参加十
五チームを含め関東、東
北、南は高崎県など二十
一県から八十チーム、約一
千六百人が参加、熱戦を展
開する。

最高80チーム参加

初の女性、男子と混合で

大会はサッカーを通じ、進を図るのが目的。種目
で、地域間の交流と健康増進は、勝利を自指すチャレン
ジ部門のほかに、サッカー
を楽しむことを主としたエ
ンジョイ部門もあるユニ
ークな大会だ。
参加選手は職業、年齢な
どろさまさま。大会を主催
な朝日新聞社も、
サッカー好きの士に刺激
され父親同士で作ったチ
ーム、職チーム、体力ツ
りにと、中年になって始め
た人もいる。
大会が縁で他県チームと
交流を進めるチームも多
い。普通の「群馬四十番サ
ッカークラブ」(埼玉県与
野市)は、この一年間に他
県チームと八試合の強豪試
合をした。同チームは、今
大会に備え紫色をテーマに
たユニホームを新調した。
今年、初の女性、男
子混合チームも参加し、男
子混合チームが優勝する。
エンジョイ部門に出場する
特別S.C.育成会(東京都)
のメンバー、会社員の遠藤
信枝さん(合)は「練習試合
はよくありますが公式戦は
初めて。楽しみです」と、
話す。
また同部門に出る東京消
防庁の職員で組織する「B
OMBERS」(合)は、
四人の女性が参加の予定。
一方、大会本部の受け入
れ準備も急ピッチ。今回か
らチャレンジ部門の優勝チ
ームに贈る大旗旗も二十
九日に出来た。市体育協会
長の小倉利三郎市長は「ス
ポーツを通しての交流はま
ちの発展にもつながる。こ
れを契機に各業ともに立派
な全国大会に育てたい」
と、話す。

5回目を迎え記念大会



「気分一新。頑張るぞ」。ユニホームを新調し、張り切る古河四十番サッカークラブのメンバー。埼玉県と野市上落合で

古河市マスターズ
サッカー大会



五回大会を記念し新しく作られた優勝旗



水戸支局(9310)
水戸市大町 1-2-38
☎029-229-0131
ファクス 229-5055
つくば支局(9305)
つくば市二の宮2-5-28
☎0298-55-0131

県内取材網
浦立 0298-22-0131
浦立 0294-21-0070
浦立 0296-22-2313
河島 0290-32-5382
河島 0299-82-2375
手久 0297-72-2132
手久 0298-73-1310

古河市マスターズ
サッカー大会開幕
過去最多の規模に

古河市マスターズサッカ
ー大会(古河市、市体育協
会主催、朝日新聞社主催)が
五日、朝日新聞社古河
東北地方を中心に南は高崎
で開いた。大会は五日ま
で開く。約二千六百人が参加
し、各会場とも二若い層に
分けたいハッスルプレー
で熱戦が展開された。

「生涯サッカー」に1600人



小倉利三郎市長(右から3人目)の地球式で開幕した古河市マスターズサッカー大会。古河市の渡良瀬川河川敷のリバーフィールド古河で

参加資格は男性は四十歳以上。女性は年齢制限無し。地域間交流と健康増進などが狙いで、記念大会にあわせて、参加チームはこれまで最高だった昨年より二十一チームを増え、大規模な祭典になった。
試合は午前九時から会場ごとに一斉に始まった。九面の観戦客が並ぶ河川敷では、市体育協会長の小倉利三郎市長の挨拶のあとキックオフ。勝利を自指すチャレンジ部門(サッカー)、エンジョイ部門(サッカーを楽しむ)とを主体に開いたエンジョイ部門の交流試合計七十八試合が行われた。
カラフルなユニホーム姿の選手がボールを運んで走る。五、六、六十代の選手も息を飛ばせばいい。応援の家族や見物客の拍手やどよめきがわいた。
負けても「楽しいサッカーでした」と、さわやかな選手たち。対戦チームの代表選手が、郷土の土産品を記念に交換する姿もあり、マスターズサッカーらしい光景が見られた。
エンジョイ部門に初出場

した選手は「(S.C.I)の選征は初めて。同僚の選征で来ました。生涯スポーツとして意義ある大会で参加して良かった。戻ったと言った大会を広めたい」と語っていた。

土曜ワイド

土曜ワイド



決勝 噴き出る汗。疲れた。あとは気力。最後の攻防が長く。Jリーグに負けない好試合と観客や大会関係者は思う。「ところが優勝してもおもしろくない」との声があざむきからあがった



吹き抜けた さわやかな風

熱戦 若者に負けないハッスルプレーが続く。ボールを追っての競り合い。迫力が伝わり、拍手と歓声がわく。「勝負よりも楽しくやっています」と選手



青春 胸をときめかせ交代を待つ新井橋さん(左)。土、日曜日ほどとどろき、チームプレーとスピード感が大好き。対戦チームの選手は「集中力がある」とほめる



頑張る BOMBEE ROO119(東)の女性選手の井出加保里さん(左)。男性選手に交じり奮闘。本職は立川消防署の救急隊員。「入部後、初の公式戦出場。その上がらす楽しかった。「立派な戦力です」とチーム代表の本橋真規夫さんは話す

古河市マスターズ サッカークロニクル 交流広がる 1600人

駐屯地サッカー場であつた。県内の十四チームを始、千八百人が参加しての祭典。関東や東北地方など一都だった。

チャレンジ部門決勝トーナメント

前橋 四十雀 (群馬)	3	0
横須賀 四十雀 (神奈川県)	0	1
本庄 アイベックス (埼玉)	0	1
萩 エククラブ (宮城)	4	3
下郡 四十雀 (栃木)	0	3
高麗 サッカークラブ (神奈川県)	3	3
茅ヶ崎 四十雀 (神奈川県)	4	2
東京北区 四十雀 (東京)	0	0

PK 5-3 萩エクラブ (初優勝)



最年長 対戦前、軽い練習をするY・Kクラブ(神奈川県)監督兼選手の堀内清高さん(左)。思切れるようになった。でも「かなめ」のGKとしてフル出場。「まだまだ現役でがんばって」の声援が飛び



パーティー 初日の対戦後のパーティーは楽しみのひとつ。これまで最高の参加数に市立体育館の広い会場も選手らでいっぱい。ジョーを楽しみ、酒を交わし談笑のうちに「ぜひ交流試合を」の話も出る。なごやかに時が過ぎた

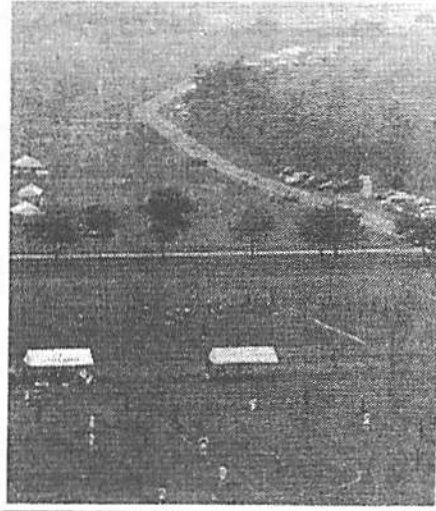
「この大会を楽しみに練習を続けてきた」という北國のチーム。遠く宮崎県から初参加したチームの監督は「県内に四十代以上の大会がないので参加できて楽しかった。他県チームが上手なのに感心もした。勉強になった」と話していた。対戦がきっかけで交流の輪が広がったというチームも多かった。



ステッカー 大会中は、タクシーも「歓迎・マスターズサッカー大会」のステッカーを張り街を走った。「PRと選手団歓迎を」の制作、タクシー会社に協力を願った。評判は上々」と大会本部

1995年(平成7年)6月3日 土曜日

2版 14



お父さん 頑張って サッカー マスターズ開幕

関東、東北を中心に、十
一都県の四十歳以上の約千
六百人が参加する茨城県古
河市マスターズサッカー大
会(古河市、市体育協会主
催、朝日新聞社など後援)
が三日、市内の渡良瀬川河
川敷などを会場に三日間の
日程で開幕した。写真。
今年に記念の第五回大会

で、過去最高の七十八チ
ムが参加した。若い女性を
メンバーに入れた初の混成
チームも出場している。
勝利を目指すチャレンジ
部門と、「サッカーを楽し
もう」というエンジョイ部
門に分かれたグラウンドに
は、「おとうさん頑張って
——」と、声援が響いた。

日刊スポーツ

平成7年(1995年)6月6日

☆本社後援 第五回記念古
河マスターズサッカー大会
(3/5日、市立古河サッカ
ー場ほか)
▽準決勝
萩工クラブ 1-0 前橋四十雀
高麗SC 3-2 茅ヶ崎四十雀
▽決勝
萩工クラブ 3-3
PK高麗SC
5-3

1995年(平成7年)6月6日

◇サッカー 古河市マスター
ズ大会(市立古河サッカー場)
朝日新聞社後援
▽準決勝 萩工(宮城) 1
-0 前橋四十雀(群馬)、高麗
ク(神奈川) 3-2 茅ヶ崎四十
雀(神奈川)
▽決勝 萩工 3 (PK) 5-
3 高麗ク